

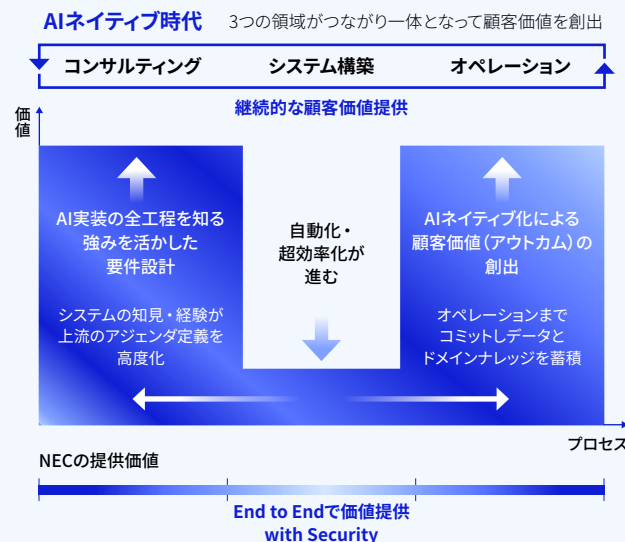
事業環境

AIの革新と新たな安全保障環境の到来が世界の秩序を変容させ、脅威と機会が同時に拡大

AIの進化に伴うITサービス市場の構造的変化

AI産業革命の本格化に伴い、新たなアプリケーションやプラットフォーム、さらにはAIを前提とする新しい社会、産業が生まれ、グローバルでは45兆円を超える規模の市場創出が見込まれています。一方、市場環境の大きな変化により、企業の優勝劣敗が鮮明になることも想定されます。

ITサービス市場においては、システム構築の自動化・効率化、内製化の拡大、ベンダースイッチングコストの低下、AIの普及による運用責任の不明瞭化に伴うリスクの増大といった変化が想定されます。従来は「コンサルティング」「システム構築」「オペレーション」という3つの領域は分断され、個別の市場が形成されていましたが、AIネイティブ時代には、これらをシームレスにつなぎ、AI実装の全工程を知る強みを活かした要件設計から顧客価値（アウトカム）の創出まで、End to Endで価値を提供できる企業が存在感を強めていきます。



地政学的緊張の常態化やAIの進化を背景に、安全保障の裾野が拡大

国際協調の揺らぎや悪意あるテクノロジーの利用が日常を脅かす中、平時と有事の境界が曖昧化しています。このような背景のもと、民生と防衛の技術／市場の融合が進むとともに、デジタルインフラの重要性が高まり、安全保障の裾野は拡大しています。これは防衛領域における予算の拡大や民需転用の広がりだけではなく、経済安全保障およびサイバーセキュリティも含めた総合的な安全保障に関わる事業機会が拡大することを意味します。重要なデジタルインフラの安全性・信頼性を担保すること、加えて、高度化するサイバー攻撃に対し、社会システムを守るサイバーセキュリティを強化すること、これらの価値が、これまで以上に拡大していきます。



構造変化の中で勝者となるための条件

産業構造や社会システムが大きく変化する中、勝者になるために必要となるのは、意思決定と継続的な価値創出を実現するドメインナレッジ、顧客成果創出のために設計・実装されたシステムアーキテクチャ、そしてAIネイティブ時代に価値を生むためのファウンデーションを一体として兼ね備え、アウトカムを顕在化させることです。これらをどのように獲得・強化していくかがNECの2030中期経営計画における重要なポイントです。

意思決定と継続的な価値創出を実現する ドメインナレッジ

業種別のナレッジ

業種横断のナレッジ

顧客成果創出のために設計・実装された システムアーキテクチャ

AIガバナンス

AI Platform

AI-Readyデータの整備

クラウドIT基盤 with セキュリティ

AIネイティブ時代に価値を生むための ファウンデーション

最先端のAI基盤

最先端のデュアルユース技術*開発

AIネイティブなプロセスと文化

パートナーシップ

* デュアルユース技術：民生用にも安全保障用にも利用される可能性がある技術